

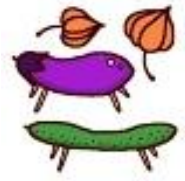


お盆がきます...

お盆のいわれと

由来

お盆の正式名称は「盂蘭盆会・うらぼんえ」と言い



ます。先祖（先亡）の精霊を迎え追善の供養をする期間を「お盆」と呼びます。

七月または八月の十三日より十六日までの四日間をさします。十三日の夕方に迎え火を焚き、先祖の霊を迎えます。十六日の夕方、送り火を焚き、ご先祖さまにお帰りいただきます。

◆逆さ吊り？

「盂蘭盆会・うらぼんえ」とはインドのサンスクリット語のウラバンナ（逆さ吊り）を漢字で音写したもので、転じて「逆



さまに釣り下げられるような苦しみにあつている人を救う法要」という意味です。

お盆の行事はお釈迦様の弟子

の一人、目連尊者（もくれんそんじや）が母を救う話に由来し

ています。目連尊者はある時、

神通力によって亡き母が餓鬼

道に落ち逆さ吊りにされて苦

しんでいると知りました。そこ

で、どうしたら母親を救えるの

かお釈迦様に相談したところ、

お釈迦様は言われました。「夏

の修行が終わった七月十五日

に僧侶を招き、多くの供物をさ

さげて供養すれば母を救うこ

とが出来るといふ」と。目連

尊者がお釈迦様の教えのまま

にしたところ、その功德によつ

て母親は極楽往生がとげられ

たとのこと。それ以来（旧

暦）七月十五日は、父母や先祖

に報恩感謝をささげ、供養をつ

む重要な日となりました。日本

各地で行われる

お盆の行事は、各

地の風習などが

加わったり、宗派

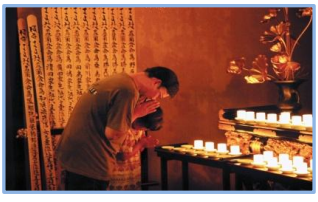
による違いなど

によってさまざま

ですが、一般的

に先祖の霊が帰ってくると考

えられています。



☆墓地の拡張について

二月より「葛飾

中央浄苑」という

名称で法問寺の墓

地を頒布しており

ます。新聞のチラシをご覧になられ

た檀家の方も多いと思えますが、チ

ラシには「宗旨・宗派は自由です」

と記載されておりますが「今までの

宗旨・宗派は自由です」という意味

で墓地をお取り頂いた方は、これ以

降については法問寺の宗派である

「浄土宗」の行儀にて法要など執り

行うことを約束していただいております。

今までのように大きな墓地

を必要としない方が増えており、小

さめの墓地となりますが、小さい分、

墓石建立の経費等も抑えられています。

墓地をお取りいただいた、新

しいお檀家の方々も従来通りのお

檀家の方々と同じように法問寺の

檀信徒として加わって頂いております。

チラシの文章について説明不

足であると思われませんが、一般的に

も宗旨にこだわる方が少なくなつ

ており、昨今お寺の墓地ではあるが、

霊園とおなじような形態で宗旨を

問わない寺院墓地もあります。法

問寺の墓地、新しいお檀家の皆様は



「浄土宗」に属しておることを確認しご報告いたします。

◇ 住職雑感 ◇

今年五月の連休に行われました浄

土宗東京教区北部組五重相伝会

は多くの参加者よりすべての行事に

おいて感動された感想文が届きました

本日の浄土宗の教えを授けられた参

加者の皆様は充実した人生生活を

送ることが出来ることと思います。

明年が法然上人の八百年遠忌（八

百年回忌）の年ですが、それに向けて

多くの浄土宗行事が計画されてお

ります。その一つとして行われた「五重相

伝会」ですが、法問寺関係者（檀信

徒）も四名参加し、皆、無事に成満

されました。私はこの大遠忌は五十年

に一度の勝縁と思いい、東京の浄土宗

寺院で計画されている行事にも積極

的に出席しております。来年一月には

念仏行脚（ねんぶつあんぎゃ）とい

うお念仏を唱えながら町をめぐる修行

にも参加することになりました。

檀信徒の皆様が参加できる行事も

多く計画されておりますので皆様も是

非ご縁を結んで下さい。



南無南無

施餓鬼会再開記念

チャターとお話 音楽会

六十数年ぶりの再開を迎えた施餓鬼法要を記念して、チャター協会の会長内藤敏子先生に、チャターの演奏とお話をお願い致しました。



曲

チャターは、日本ではあまり広くは知られていない楽器ですが、スイス、オーストリアなどで、古い歴史を持つ楽器です。内藤先生はスイスに在住していらしたときにこの楽器と出合わせ、その澄んだ音色に魅せられ習得なさったそうです。今回は、チャターの生まれ故郷の曲や、日本でも耳慣れたポピュラー曲そして、親しみのある日本の曲などいろいろな演奏して頂きました。



本堂はいつものしつらえとちよつと違うもので施餓鬼法要に合わせたものでしたが、ちょうどチャターを囲むような感じで

良い雰囲気であった気がします。

曲の合間に挟まれた、先生のお話も、先生の体験なされたことや、チャターの故郷のこと、チャターの曲としては、日本では、一番聴きなれた曲「第三の男 ハリイ・ライムのテーマ」(映画です)のお話など、様々な方面に渡りました。

そして、最後には、いらして下さった檀家の皆さんと先生と、懐かしい名曲、「花」春のうららの隅田川」と、「ふるさと」を、一緒に演奏、合唱することができました。檀家さん

も皆さん、一緒に歌って下さって、本堂が歌声で溢れました。

先生そして、皆さんに感謝でした。



音楽会の後に六十数年ぶりに再開された 施餓鬼法要



◆花だより◆
そんな五月に、境内には、今年何年かぶりに、また植え込みをしたバラがきれいに花を咲かせてくれました。

今回の植え込みで初めて買った品種です。オレインがかった赤がとてもきれいな花です。



赤、黄色、クリーム色、ローズ、ピンク、白など、色とりどり、そして香りもみな、それぞれに違うバラ達が咲きました。とても上品な香りのバラです。いつだったかある男性の檀家さんがたぐさんある中で、この香りが一番だ！とおっしゃっていたこともありました。

「バラの香り」と、一口に総称されますが、実は、みくんな違う、それはそれは、いい香りなんです！
甘い香り、ゴージャスな香り、フルーティな香り、爽やかな香り、など様々に香ります。寺にいらして、もし、バラが咲いていたら、是非香りを嗅いでみてください。どれが好き

かな？なんていう好みの香りも、みつかるとはいいかもしれません。そして、六月にはいり、いま、境内では、こんな花たちが、彩りをそえてくれております。
例年より遅い梅雨入りでしたが、いよいよ、うつつうつつの季節の到来です。



黄色の花菖蒲このほか、紫白に紫など、ぼつぼつ咲いています

そんな雨降りに、



持ちをほんわかさせてくれるのが紫陽花です。雨にしつぽり濡れて咲く紫陽花は、なんとも、風情が



あり、晴天の下の紫陽花に勝るとも、決して劣らない美しさですよ

ね？
そして、最後に、ご紹介する画像は今年、春に、植え込み、植え替えをした蓮たちです。だいが葉っぱが出てきています。今年はいくつ咲いてくれるか、楽しみに手入れをしています。



客殿玄関前の蓮の鉢です。だいが葉っぱが出てきています